

令和4年度 中部エネルギー・温暖化対策推進会議

【資料 5－2】

中部経済連合会のエネルギー・脱炭素に 関する近年の取り組み

2022年11月4日

中部経済連合会
エネルギー・環境部大橋

中部経済連合会のエネルギー・脱炭素に関する近年の取り組み

- 【取組①】 中期活動指針 ACTION 2 0 2 5
- 【取組②】 カーボンニュートラルの実現に向けた経済社会の変革
- 【取組③】 マイクログリッド導入ハンドブック
- 【取組④】 循環経済分野の自治体交流会
- 【取組⑤】 分散型・循環型社会の形成に向けた取り組み
- 【取組⑥】 カーボンリサイクル・次世代エネルギーシンポジウム

【取組①】 中期活動指針 ACTION 2025

○今後5年間で中経連が取り組む活動として2021年6月に公表。指針の一つとしてカーボンニュートラル社会の実現に向けた活動と題し、**ローカルエネルギーシステムの構築推進・利用サイドのグリーン化**に資する研究開発、新システム導入などを促進

取り組み例：ゼロカーボンシティ宣言地区をターゲットとした、自治体新電力などによるマイクログリッド導入を触発する勉強会など、**マイクログリッド普及に向けた啓発・情報発信**



【取組②】 カーボンニュートラルの実現に向けた経済社会の変革

提言書を2022年1月31日に公表

【提言のポイント】

1. イノベーション・産業構造の転換
グリーンで付加価値の高い産業構造への転換
2. 自立・分散かつ循環経済型社会
レジリエンス強化と持続可能性の向上
3. 人材投資・育成
新たな事業領域への人材シフト、雇用の流動化

カーボンニュートラルの実現に向けた
経済社会の変革

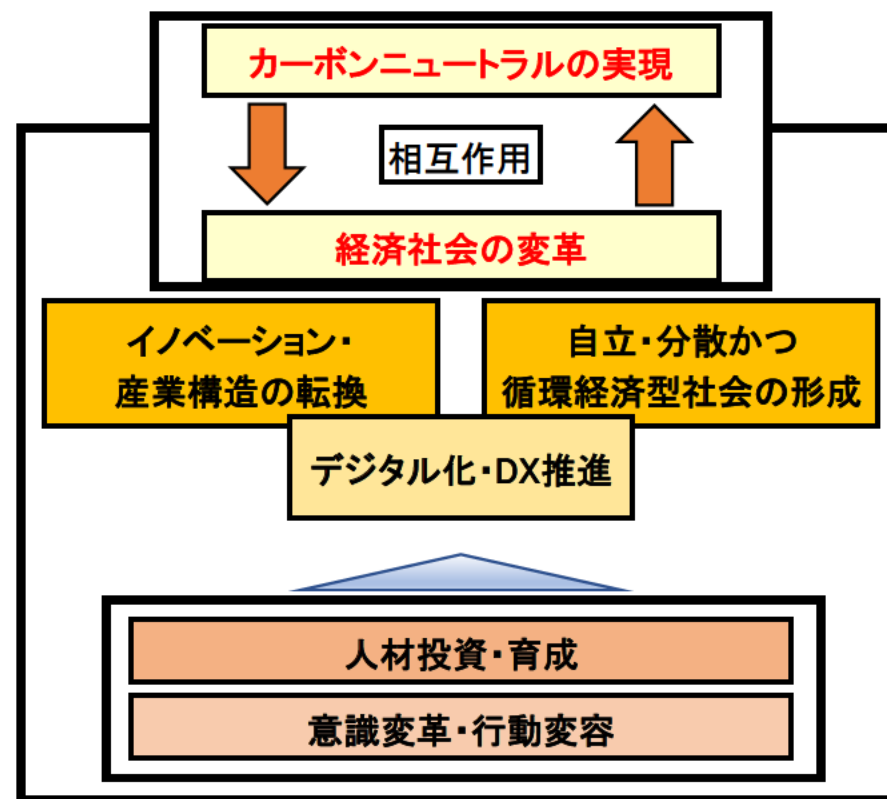
2022年1月

一般社団法人
中部経済連合会

【取組②】 カーボンニュートラルの実現に向けた経済社会の変革

カーボンニュートラルへの対応には、

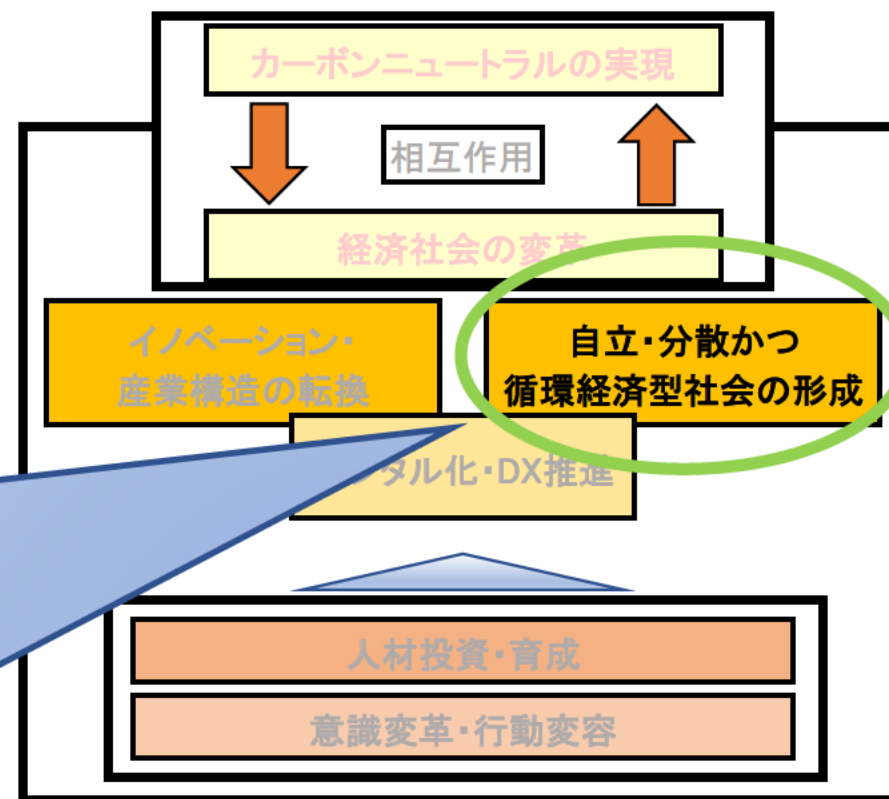
- ① **できることから迅速に行動**を始める
 - ② **ありたい未来を構想**し、目標達成のため
計画性・戦略性・柔軟性を持って対応する
- 2つのアプローチが必要。提言の目的を
「2050年日本のカーボンニュートラルの
実現に向けての中部圏の社会経済活動全体の
戦略の方向性を打ち出す」こととし、
右の図のように、5つの取り組みについて
方向性をまとめた。



【取組②】 カーボンニュートラルの実現に向けた経済社会の変革

自立・分散かつ循環経済型社会の形成における中部圏の取り組みとして、
できることから始めていく代表例として、

『中部圏の豊かな森林資源の活用・木材利用の促進を図るなど、持続可能な循環型社会の形成
マイクログリッドの構築など、地域での脱炭素への取り組みの推進』
等を宣言

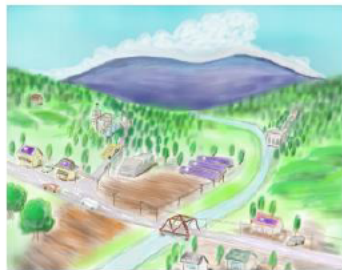


「マイクログリッド導入ハンドブック」の発行（2021年3月）

地域の再生可能エネルギーや蓄電池、電気自動車等を活用し、地域課題を解決する分散型エネルギーシステムの構築に向けたハンドブックを作成し、会員企業や中部エリアの自治体に配付

マイクログリッド導入ハンドブック

～分散型エネルギーの地産地消による省エネ・省CO₂、
レジリエンス向上など、地域課題の解決に向けて～



2021年3月

一般社団法人 中部経済連合会
エネルギー・環境委員会

【ハンドブックの構成】

（第1章）はじめに

（第2章）マイクログリッドとは（定義・構成要素など）

（第3章）マイクログリッド導入のメリット（地域・企業・社会）

（第4章）マイクログリッド課題と解決の方向性

（第5章）マイクログリッドのモデルケース・事例

（設備の規模感や事業の経済性などをイメージしてもらう
ため、6つのケースを想定してモデル検討を実施）

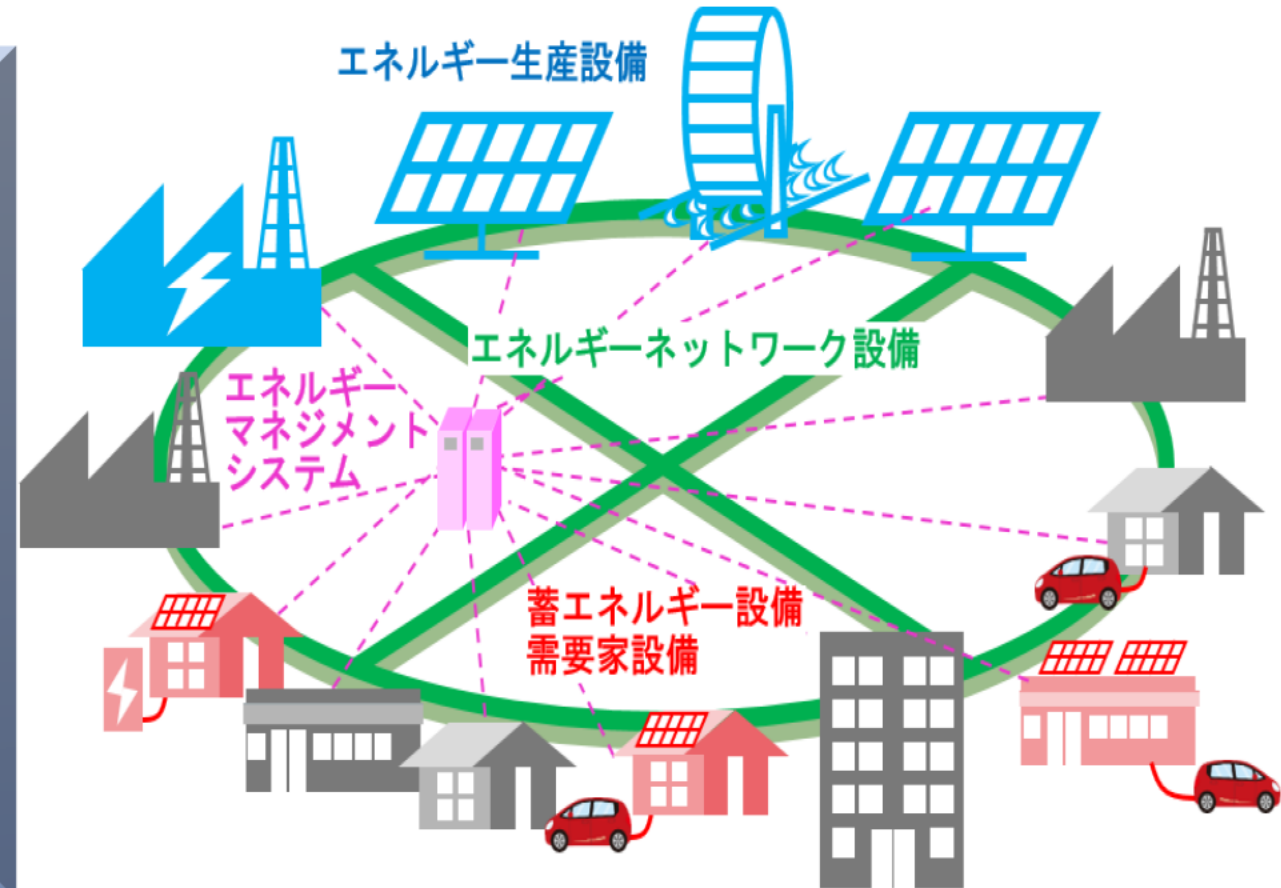
○作成WGの委員会社（◎は主査会社）

清水建設、◎中部電力、中部電力パワーグリッド、デンソー、東邦ガス
トヨタ自動車、NTT西日本、NTTアノードエナジー、日本ガイシ、丸紅

【取組③】 マイクログリッド導入ハンドブック

再生可能エネルギーや蓄エネルギー設備といった**分散型エネルギーリソース(DER)**とエネルギーネットワークを一定規模で統合し運用するエネルギーシステム

- ◆平常時…エネルギーの**地産地消**を行いコストおよび環境負荷の低減を図る
- ◆災害等による停電時…グリッド内の電源や蓄電池等を活用して**自立運転による電力供給を継続**



※エネルギーネットワークとして、配電網については、事業者が構築する方法と、既設の配電線を活用する方法がある

【取組④】 循環経済分野の自治体交流会

「循環経済・廃棄物削減/リサイクル等に関する中部圏での取り組み
情報交換・交流会」を中経連主催にて開催（2022/7/14）

◇各機関での取り組み施策や先行事例等を順次講演ののち、相互に
意見交換。

◇中経連会員企業（約40社）もWeb参加で聴講し、自治体取り組み
への参画検討や情報収集を実施。



【参加機関】

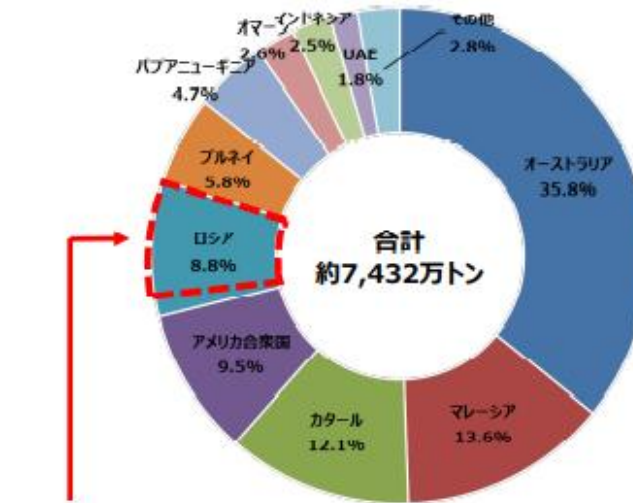
環境省中部地方環境事務所
経済産業省中部経済産業局
農林水産省東海農政局
愛知県 環境局 資源循環推進課
三重県 環境生活部 廃棄物・リサイクル課
岐阜県 環境生活部 廃棄物対策課
長野県 環境部 資源循環推進課
静岡県 環境局 廃棄物リサイクル課
名古屋市 環境局 ごみ減量部

(参考) ロシアのウクライナ侵攻やコロナからの経済回復を受けた 資源価格高騰によるエネルギー安全保障の重要性

天然ガス価格の推移



我が国のLNG輸入の国別シェア（2021年）



ロシアからの輸入量のうち
サハリン2が9割以上（約600万トン）

※ 米国テキサス州のLNG製造施設（フリーポートLNG）で
火災が発生したことによるLNG需給動向への影響も注視が必要。

（出典）左図：S&P Global Platts他、右図：財務省貿易統計

【取組⑤】 分散型・循環型社会の形成に向けた取り組み

(2022年度 エネルギー・環境委員会 取り組み)

2021年度までの動向と取り組み

動向

- ✓地球温暖化対策の加速
- ✓気候変動に伴う災害の激甚化
- ✓限られた資源の効率的利用

取り組み※

- カーボンニュートラルへの対応
- ✓レジリエンスの強化（エネルギー）
- ✓循環型社会の形成（3R）

最近の動向と2022年度の取り組み

動向

- ✓ロシアのウクライナ侵攻やコロナからの経済回復を受けた資源価格高騰によるエネルギー安全保障の重要性
- ✓電力需給ひっ迫の顕在化による安定供給確保の必要性

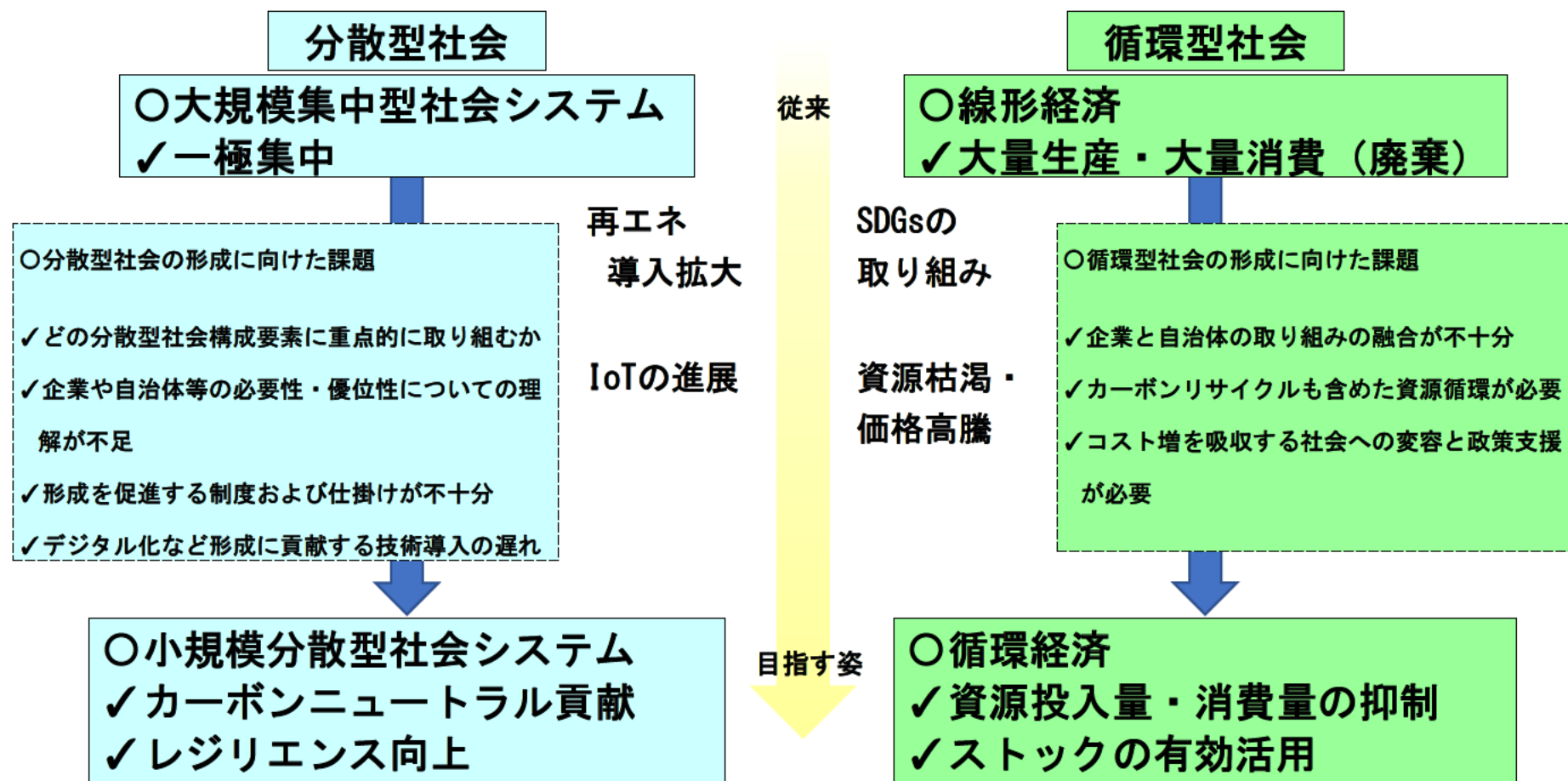
取り組み（方向性）

- ✓エネルギーをはじめとする**分散型社会の形成**に向けた検討・加速
- ✓資源効率性を最大限に活かした**循環型社会の形成**に向けた検討・加速

※「今後のエネルギー政策に関する提言」、「CNの実現に向けた経済社会の変革」、「自治体などへの分散型エネルギーによる脱炭素取り組み支援」など

【取組⑤】 分散型・循環型社会の形成に向けた取り組み

分散型・循環型社会の必要性と課題



【取組⑤】 2022年度 エネルギー・環境委員会 取り組み

分散型・循環型社会形成のための知見を深めるため、以下の講演会を実施

分散型社会形成に関する講演会

日 時： 2022年9月28日（水） 14:00～16:00

講演 1：[講師] 京都大学 人と社会の未来研究院 教授 広井 良典 氏
[演題] 分散型社会への展望と課題

講演 2：[講師] 一般財団法人電力中央研究所社会経済研究所 主任研究員 田口 裕史 氏
[演題] 分散型社会におけるインフラ・社会構成要素の姿

循環型社会形成に関する講演会

日 時： 2022年10月20日（木） 14:00～15:30

講 演：[講師] 産学連携推進機構理事長 妹尾堅一郎氏
[演題] 『サーキュラーエコノミーの本質
～資源循環経済の産業生態系とビジネスを理解する～』

【取組⑥】 『カーボンリサイクル・次世代エネルギーシンポジウム』 開催概要（暫定）

1. 日 時 2022年12月19日（月） 13:30 ～ 16:20
2. 場 所 ナゴヤイノベーションズガレージ〔ナディアパーク4階〕
3. プログラム（仮題）各講演30分を予定
 - 「カーボンリサイクル政策について」
経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房 カーボンリサイクル室長 羽田 由美子 様
 - 「CO₂分離回収技術について」
名古屋大学 未来社会創造機構 教授 則永 行庸 様
 - 「合成燃料等のCO₂利用に関する取り組み」
株式会社デンソー 環境ニュートラルシステム開発部 CO2システム開発室長 鈴木 雅幸 様
 - 「洋上風力発電に関する取り組み」
丸紅株式会社 洋上風力・国内再エネ事業部長 舘上 博 様
 - 「次世代太陽電池に関する取り組み」
東芝エネルギーシステムズ株式会社 次世代太陽電池開発部
ペロブスカイト太陽電池開発グループ エキスパート 宮内 裕之 様